

麻疹(はしか)の流行について(6)

埼玉県や東京都、千葉県を中心に関東地方で麻疹が流行！
横浜市でも幼稚園、中学校、高校、専修学校、大学で休講等がありました。
東京都では、大学等で集団発生が続いています。

麻疹(成人麻疹を除く)の流行状況については、全国で約3000か所、横浜市では84か所の小児科診療を行っている指定届出医療機関(小児科定点)からの報告により、把握しています。
成人麻疹(15歳以上)の流行状況については、全国で約450か所、横浜市では3か所の基幹定点(内科と小児科を持つ300床以上の病院)からの報告により把握しています。
小児科定点および基幹定点からの患者報告は、月曜日から日曜日までの1週間ごとに行われており、1週間単位での集計結果を、ホームページ等で、公表しています。

横浜市では、小児科定点からの報告は、

第21週(5/21～5/27) 8人(5歳1人、6歳1人、10～14歳3人、15～19歳3人)

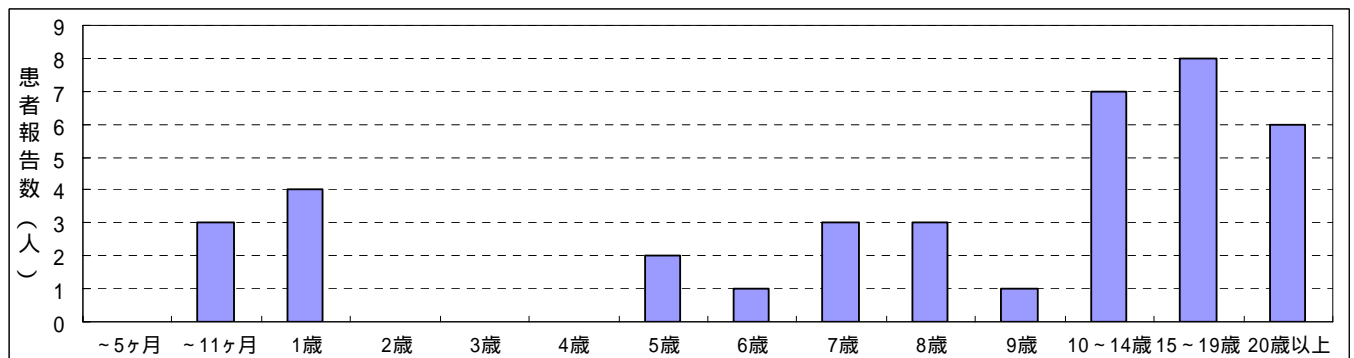
と、第14週以降、発生が続き、2007年の累計報告数は38と、2006年の年間報告数16の倍以上になりました。

* 15歳以上の患者が、小児科定点を受診する場合もあり、ご報告いただいたものは計上しています。

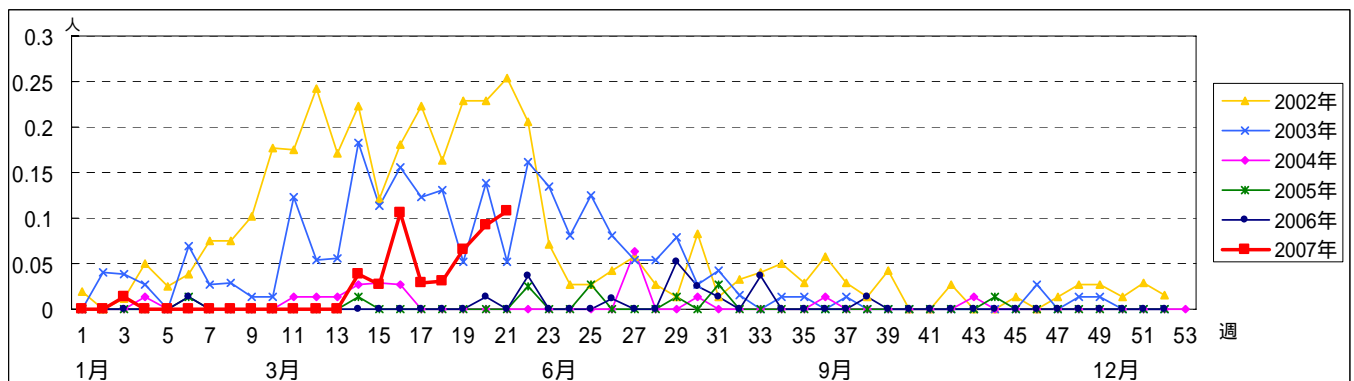
各区別の情報は「横浜市感染症発生動向調査週報一覧(横浜市衛生研究所)

(http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/topic_inf/kansen_khama.html)をご覧ください。

横浜市における麻疹(成人麻疹を除く)年齢別患者報告数(2007年1～21週)



横浜市における麻疹(成人麻疹を除く)定点あたり患者報告数の推移



麻疹は空気感染（飛沫核感染）、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示す疾患で、その感染力は極めて強力です。

患者との直接対面接触がなくても、同じ空間を共有することでも、感染する場合があります。

免疫のない人が感染した場合、ほぼ全員が発病します。

感染から発病までの潜伏期間は、10日前後です。（10～12日）

症状はカタル期（2～4日）には38 前後の発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血、眼脂、羞明などであり、熱が下降した頃に頬粘膜にコプリック斑が出現します。

発疹期（3～4日）には一度下降した発熱が再び高熱となり（39～40 ）、特有の発疹（小鮮紅色斑が暗紅色丘疹、それらが融合し網目状になる）が出現します。

発疹が出現する4日前くらいから、他の人にうつります。

感染力が強いのは、最初の発熱～発疹出現36時間後までで、発疹出現5日後まで、ウイルスが排出されます。

学校保健法での出席停止の基準は、解熱後3日を経過するまでとなっています。

発病した後の特別な治療法はなく、症状に応じた治療が行われます。

ワクチンによる予防が最も重要です。

麻疹が疑われる症状があるとき、周囲に麻疹の患者がいて、発熱など感染の可能性があるときは、登校や外出は避け、早めに医療機関を受診しましょう。
 受診の際は、医療機関にあらかじめ症状等を伝えて、指示に従いましょう。
 予防接種が済んでいない方は、早めに接種しましょう。

麻疹は、全数報告ではなく、定点からの報告のため、実際の発生数は、もっと多い可能性があります。

2007年 全国と関東における週別麻疹患者報告数

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
全国	8	11	13	9	7	18	7	22	5	8	10	6	25	30	34	73	107	92	216	208	210
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	2	5	4	4	3	6
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	8	4	6	18	8
群馬県	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	3	-	3
埼玉県	4	4	4	3	3	8	2	11	2	5	1	-	11	12	9	14	16	24	35	27	27
千葉県	1	1	3	2	-	-	1	3	-	-	2	-	1	-	1	11	16	9	56	28	32
東京都	-	-	3	-	-	1	-	1	-	2	2	4	9	7	10	14	12	14	31	35	28
神奈川県	1	-	1	1	-	1	-	1	-	-	1	-	1	4	3	10	6	4	22	18	21
横浜(再掲)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	8	2	2	5	7	8
川崎(再掲)	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	4	2	4
県域(再掲)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	2	13	9	9

2007年 全国と関東における週別成人麻疹患者報告数

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
全国	1	1	3	1	2	1	1	1	2	-	9	9	13	5	16	41	28	31	63	77	82
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	1	2	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	1	-
埼玉県	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	3	5	3	1	4	5	8
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	3	2
東京都	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5	3	8	2	7	12	15	21	21	22	23
神奈川県	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	2	4	5	2	2	5	10	10
横浜(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	1	5	3	4
川崎(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	2	3	1	1	-	4	3
県域(再掲)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	3	3

注) データについては、遅れて報告のあった分を集計に加えるため、数値がわずかに変動する場合があります。

横浜市内でも、麻疹(はしか)による休校・休園等が発生しています(平成19年5月30日現在)。

専修学校(港北区) 5/29~5/31

幼稚園(都筑区) 5/29~6/3

市立中学校(神奈川区) 5/31~6/10

今までの休講等の状況

公立大学法人 横浜市立大学(金沢区) 5/23~6/1

法政大学女子高等学校(鶴見区) 5/22~5/28

慶応義塾大学日吉及び矢上キャンパス(港北区) 5/26~6/1

< 集団感染の発生を防ぐために >

学校、大学等の集団においては、発生に備えて、学生や職員の、麻疹ワクチン接種歴や麻疹既往歴を確認しておきましょう。

未接種者や、未罹患患者には、ワクチン接種を勧奨しましょう。

迅速な対応が必要になるので、1例でも発生した場合は、校医や福祉保健センターに相談し、対策を検討しましょう。

患者発生時には、全学生や全職員に毎朝検温を実施してもらい、37.5度以上の場合は、外出を控えるように指導しましょう。

感染拡大防止のため、必要に応じて、休校やワクチンの接種を検討しましょう。

潜伏期間も考慮して、休校は、最低10日間を考えましょう。

10代、20代等の年長者の行動範囲は広く、また感染力は強いものの発熱やカタル症状が主で発疹のみられないカタル期においては、麻疹と自覚しないままに活動を継続してより広範囲に感染を広げてしまう可能性が高いものと考えられます。

< 修飾麻疹について >

不完全な免疫を持ち、感染した場合、典型的でない軽症の麻疹を発症することがあります。麻疹ワクチン接種後数年を経過し抗体が低下したり、1歳前で母親由来の抗体が残っている場合で、潜伏期が14~20日、前駆期の症状が軽く、発疹が急速に出現、経過も短く、色素沈着が弱い等、麻疹と診断するのが難しい場合もありますが、麻疹としての伝染力がありますので、注意が必要です。

< 予防接種について >

2006年4月から、MRワクチンの2回接種が開始され、定期接種対象年齢は第1期:生後12~24か月未満、第2期:小学校入学前年の4/1~3/31です。対象者は、速やかに接種しましょう。

特に、第1期(生後12~24か月未満)のできるだけ早い時期の接種が重要です。

厚生労働省は、5月30日に、定期予防接種の実施の確保について、都道府県に通知しました。

未接種・未罹患患者には、ワクチン接種が勧められます。

特に、麻疹(はしか)に免疫のない妊婦が感染すると、流産や早産を起こしやすくなるため、未接種・未罹患患者は、妊娠前に必ず予防接種を受けましょう。

< 参考資料 >

・麻疹(はしか)に関する Q&A (厚生労働省)

(<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html>)

・麻疹(はしか)について (横浜市衛生研究所)

(http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/measle1.htm)

・麻疹 Q&A (東京都健康安全研究センター)

(<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/measles/mashin/mashinqanda.html>)

・疾患別情報 麻疹 (国立感染症研究所)

(<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>)

・「千葉県麻疹対応マニュアル」(千葉県健康福祉部)

(<http://www.phlchiba-ekigaku.org/measles/Manual%20for%20measles%20of%20Chiba%20Prefecture.pdf>)

横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課 (TEL:754-9816)

横浜市保健所 健康安全課 健康危機管理担当 (TEL:671-2463)